

ラダイスを満喫

町民空の旅

大らかな自然を訪ね 238人が参加

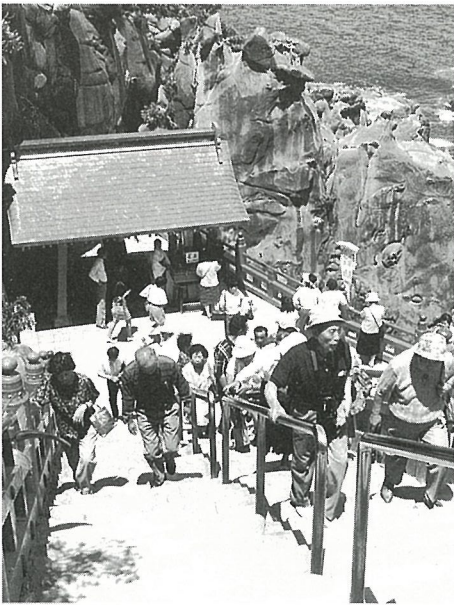
町民の皆さんが旅を通して親睦を深め、楽しいひとときを過ごしていただく「元氣アップ町民空の旅」は、海と花と太陽のパラダイス南九州を訪れてきました。

今回は、238人が参加し、6月3日から5日までの2泊3日の旅程で行われ、きらめく太陽のもと大らかな自然を訪ねた旅を満喫してきました。



薩摩半島の最南端長崎鼻で記念写真を撮る1号車の皆さん

鵜戸神宮の階段もなんのその



隠し芸・踊り・カラオケで盛りあがる

きらめく太陽のもと大らかな自然を訪ねた一行は、6月3日午前4時50分に、中村県議会議員・畔蒜助役などが見守るなか役場を出発。一路鹿児島空港へと向い、予定どおり到着しました。待ちに待った南九州の旅の始まりです。

1日目は、青年たちが第2次世界大戦時、特攻隊として多くの命を失った数々の記録が残されている智覧特攻記念館。薩摩の小京都

とも呼ばれ、イヌ横の生け垣、美しい石塀が配された庭園で知られる智覧武家屋敷。イッシー君で話題になった池田湖。白亜の無人灯台が立つ薩摩半島の最南端に突き出した岬長崎鼻。標高922mで、薩摩富士の名で知られる開聞岳を見学した後、指宿温泉に泊りました。また、夜の宴会には有志による隠し芸・踊り・カラオケなどにより、時のたつのを忘れるかのようでした。

東洋のナポリ鹿児島

2日目は、海食洞の中に朱塗りの神殿が建つ鵜戸神宮。季節ごとの花が美しさを競う掘切峠。宮崎の南から都井岬まで続く海岸線、鬼の洗濯岩とピロウ樹の青島。20近くの温泉が湯けむりをあげ、美しい火口湖が神秘的な霧島を見学した後霧島温泉に泊まりました。

3日目は、高天原から高千穂峰に天下った「にきのみこと」を祀った朱塗りの霧島神宮。噴煙あがる火山島桜島。薩摩19代島津光久公の別邸として知られる磯庭園。緑濃い森林公園で、西南戦争の激戦地として史跡が多く集まっている城山公園を見学し、地元光町へ帰ってきました。

来年も参加したい

参加者の皆さんは、終始なごやかな雰囲気、旅の終りには「とても楽しかった」「良い思い出ができた」「来年も参加したい」という言葉が随所にきかれました。